

神経性過食症に関する 臨床研究にご協力ください (認知行動療法の無作為化比較試験)

神経性過食症の方に 研究への参加をお願いしています

神経性過食症とは、過食と嘔吐などを繰り返す病気で、

下記のような症状があります

- 自分でコントロールできないくらい、たくさん食べてしまう。
- 食べたものを吐いたり、下剤をたくさん使ってしまう。
- 体重や体型のことで気分や生活が左右される。
- 極度の低体重ではない。



研究内容

本研究は、

「**摂食障害に焦点を
当てた認知行動療法
(CBT-E)**」

と

「**医師による摂食障害の標
準的治療**」の治療効果を
比較する研究です。

CBT-E

食行動の問題を持続させている考えや行動に焦点を当てる治療法です。1回60分程度の面接を、週2回から1回ずつ、**合計21回**実施します。面接の他に、記録や課題に取り組みます。

標準的治療

摂食障害治療ガイドラインに則った治療です。心理教育、栄養指導、日常の問題へのアドバイスをを行います。2週間から1ヶ月に1回程度、診察を行います。

【治療方法の決め方について】

この研究に参加することに同意された後、どちらの治療方法かは、右図のように

「**ランダム（無作為）に決める方法**」に

決められます。参加者はどちらの治療を受けるかを希望することはできません。



研究への参加を同意

無作為に決める方法

認知行動療法
CBT-E

医師による
標準的治療

ご参加いただける方

- 1) 神経性過食症と診断の診断基準を満たす
- 2) 18歳以上（未成年者の場合は親の同意があるもの）
- 3) 日本に在住し、日本語の読み書きができる
- 3) BMI {体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))} が17.5 より大きく40より小さい
- 4) 決められたスケジュール通りに来院が可能
- 5) 本研究の目的、内容を理解して、ご参加いただける方

上記の状況を満たしていても、研究に参加できない場合もございます。

研究実施概要

実施場所	東京大学医学部附属病院 心療内科
募集期間	2018年11月から2020年3月（第1期締め切り） （参加者数が多い場合、早期に締め切ることがございます）
協力期間	治療期間約5か月 + 事後評価（評価は面接とアンケートで行います） （評価は、治療開始前と治療開始から約5か月・10か月・1年8か月後となります）
治療費	通常の保険診療以外の費用負担はありません。紹介状がない場合は別途、初診料がかかります。評価時に負担軽減費（謝金）をお渡しします。

お問合せ先

ご興味のある方は、下記の宛先にメールでお気軽にお問合せ下さい。
研究内容と研究参加についてご案内いたします。



: bncbt-project@umin.ac.jp



研究参加者募集の詳細については下記のホームページにも記載しています。

<https://square.umin.ac.jp/psmut/contact.html>



スクリーニング面接で、参加の基準に当てはまらない場合や定員を超えた場合に、ご参加頂けないことや、治療に入るまで にしばらくお待ち頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。

- ✓ 通院中の方は主治医からの紹介状が必要です
- ✓ 少しでも興味のある方は、どうぞお気軽にお問合せください。



東京大学医学部附属病院 心療内科

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

研究題名：神経性過食症に対する認知行動療法の無作為化比較試験

研究責任者：吉内 一浩 担当者：野原 伸展